

# 太古の昔、恐竜が歩いていた森

はくさん  
白山 森林生態系保護地域

## 設定目的

この地域は豪雪地帯であるため、日本海型特有の植物群落がみられ、また、日本最西端の高山帯が分布し、西限と目される種が多く、植物学上からも貴重な地域です。動物は、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、イヌワシ、イワヒバリ、ホシガラス、カヤクグリ等が生息し、昆虫等も貴重種が分布しています。

その生態系を保護・管理し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に役立てるため、保護林として設定しています。

## 地況・林況

岐阜県と石川県との境をなす白山山脈周辺にある大起伏山地です。

地質は、白山の熔岩、中生代に由来する手取層群、濃飛流紋岩類及び白川花崗岩です。平成元年八月、森林生態系保護地域内で一億四千万年前に生息していた草食恐竜イグアナドン科と見られる足跡の化石が発見されました。化石のレプリカは岐阜県博物館に展示されています。

植生は、山地帯のブナ林、亜高山帯のダケカンバ林、高山帯のハイマツ等で原生的な天然林が広範囲に分布しています。

シリーズ

中部の保護林(第5回)

所在地  
岐阜県白川村



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。

白水湖

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。